



◆第3回コンサートに向けて準備始動◆

10月10日、室内合奏団クレメンティア第2回コンサートは、おかげをもちましてつつがなく終わることができました。といいながらも、来る2006年4月16日（日）の第3回コンサートに向けて、準備はすでに始まっています。

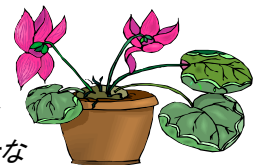
- ① 演奏者の確保 ②リハーサル日程の会場の確保 ③楽譜の手配
- ④ ポスター、チラシの作成 ⑤多年間パンフレットの作成 ⑥助成金の申請
- ⑦ 4月16日に向けての行動スケジュールの確定 ⑧会員増への取り組み

①②③については私の仕事です。第2回コンサートの終了したその日から始まっています。

第3回コンサートの編成は 第1ヴァイオリン6、第2ヴァイオリン5、ヴィオラ4、チェロ3、コントラバス2、フルート1、オーボエ2、ホルン2、ファゴット2 ですから、人数が多く、①の演奏者確保が最も神経を使うところです。

第3回コンサートは、いよいよゲルハルト・ボッセ氏の指揮が入ります。第1回、第2回は演奏者同士のアンサンブルで聴いていただく、クレメンティアの基本的スタイルでしたが、ボッセ氏は私共にとって特別な存在です。

ボッセ氏のプロフィールを見てみましょう。



1922年、ライプツィヒ近郊のヴルツェン生れ。エドガー・ヴォルガント、ヴァルター・ダヴィツン両教授に学び、国立ライプツィヒ音楽院在学中からゲヴァントハウス管弦楽団のメンバーとなり、第二次世界大戦中はリンツ帝国ブルックナー管弦楽団のメンバーとして、フルトヴェングラー、カラヤン、ベームら多くの指揮者のもとで演奏。1946年、ヴァイマール音楽大学の講師に迎えられ、1949年、同音楽大学教授に就任。1951年、ライプツィヒ放送交響楽団の第一コンサートマスターとなり、同年、母校ライプツィヒ音楽院オーケストラ科および室内楽マスタークラスの主任教授となった。1955年からはゲヴァントハウス管弦楽団第一コンサートマスターとして、歴代の首席指揮者、コンヴィチユニー、ノイマン、マズアらのもと1987年まで活動を続けた。

室内楽奏者としても高い評価を受けており、1955年、師ヴォルガントのあとを継いでゲヴァントハウス弦楽四重奏団の第一ヴァイオリン奏者となり、1962年にはゲヴァントハウス・バッハ・オーケストラを組織し、ソリスト、指揮者として活躍した。1972年、ライプツィヒ市からニキシュ賞を受賞。

1961年以来、ほとんど毎年のように来日し、1980年には霧島国際音楽祭・講習会を創立。音楽監督として毎年指導にあたる一方、新日本フィルハーモニー交響楽団をはじめ数多くの日本のオーケストラの客演指揮も行ってきた。1994年より2000年3月まで東京芸術大学客員教授を務める。1997年より8年間、小田原室内合奏団指揮者。2000年4月から神戸市室内合奏団音楽監督。2000年9月から3シーズンの間、新日本フィルハーモニー交響楽団の主要な指揮者を務めてゆく。2002年2月、同交響楽団ミュージックアドバイザーに就任。

私共にとって伝説の中の人としか思えないボッセ氏が、この日本に居られて身近に接することができるなんて夢のような幸せです。

1922年のお生まれですから、現在83歳のボッセ先生。おそらく、ステージ上のお姿をご覧になって、皆様はその若者のようなきびきびした指揮ぶりにびっくりされるに違いありません。若く美しいボッセ夫人（日本人です！）の同時通訳ぶりも、もしかしたらお目にかかれるかもしれません。



る海和さん

当日、モーツァルトのヴァイオリン協奏曲でソロを弾く海和伸子さんは、都響のヴァイオリンセクションの中心人物の一人であり、またクレメンティアでも誠意あふれる同志です。最近、素晴らしい楽器を手に入れて乗りに乗っているソロも楽しみにして下さい。

団長 湯川和雄

◆室内合奏団クレメンティア 今後の演奏スケジュール◆

(お友だちやお知り合いに友の会会員となっただけのよう、ぜひ一緒にお連れください)

♪ 第3回コンサート

2006年4月16日(日) 14時開演 我孫子市民会館大ホール

モーツァルト: ディヴェルティメント K. 287

モーツァルト: ヴァイオリン協奏曲第2番 (Vl.独奏:海和伸子)

シューベルト: 交響曲第5番

指揮: ゲルハルト ボッセ

♪ 第4回コンサート

～小林道夫氏を中心に～

2006年11月26日(日) あるいは 12月3日(日)

我孫子市民会館大ホール



湯川和雄と弟子たちによるフルート&フルート第2回コンサート 湯川和雄&長堀美佳によるフルート二重奏の夕べ

日時: 2005年12月16日(金) 19:00開演 会場: アミュゼ柏

★全自由席 一般 3,000円 小中高生 1,000円

第1回(7月29日我孫子市民会館大会議室)では、私の弟子たちがそれぞれ大曲を見事にこなし、充実したコンサートとなりました。今回はその中から、我孫子市在住の長堀美佳さん(並木小、我孫子中、我孫子高を経て、武蔵野音大出身)をクローズアップ。フルート二重奏の華麗な世界をお楽しみ下さい。また、アミュゼ柏の音響改善に今苦心しています。(懲りずに!) さて、どう生まれ変わるでしょうか。

共演の福田純子さん(ピアノ)は、芸大大学院修了後、フランスの国立リヨン高等音楽院に在学中で、今回フルート&フルートの為に帰国して臨みます。チェロの松本ゆり子さんは、クレメンティアの重要なメンバーで皆様おなじみですね。なお、チケットのお求めは湯川までお申し付けください。お待ちしております。

連絡先: Tel 04-7183-0444、Fax 04-7186-2555(湯川)



★★ 会員の輪を広げよう ★★

第2回コンサートには400名を超えるお客様においでいただきましたが、会員の皆様からは早くから「残念ですが今回はどうしても都合がつかせません」というハガキが多数届いていました。我孫子市文化祭のトップを飾るようと市教委から応援をいただいた今回の10月10日という日程は、皆様の地元でも各種の地域行事たけなわの時期。さらに家庭の行楽なども重なってしまい、なかなか市民会館に集うことのできなかった会員の皆様にはお詫び申し上げます。どうか第3回コンサートの予定をすぐに手帳にご記入いただけますようお願いいたします。チケット販売のお知らせはまた追って差し上げます。

それにしても我孫子市民会館における外国人指揮者初登場となるボッセさんが、どんなモーツァルトとシューベルトを聴かせてくれるのか、第3回コンサートはとても楽しみです。演奏とともに市民会館が満席になる

ことの期待に胸ふくらませながら、4月16日を待ちたいと思います。演奏曲目など詳しいことは次号でご紹介します。

Eメール: clementia_fan-owner@yahogroups.jp

Tel・Fax: 04(7188) 1673

〒270-1132 我孫子市湖北台2-7-25

室内合奏団クレメンティア友の会事務局長 山下 広之

※ご住所やメールアドレスなどを変更した場合、あるいは退会のご希望などは事務局まで必ずお知らせください。